

有効期間を延長した場合の不具合率及び不具合箇所数の試算結果並びに
その場合の社会的影響の試算結果

不具合率及び不具合箇所数の試算並びにその社会的影響の試算は、以下の車種を対象として実施した。

試算対象車種と想定した有効期間

対象車種	現行有効期間	想定した有効期間
①自家用乗用車(軽を含む)	3-2-2-	4-2-2-
②事業用乗用車	1-1-1-	2-1-1-
③レンタカー(乗用)	2-1-1-	3-1-1-
④8t以上貨物車	1-1-1-	2-1-1-
⑤8t未満貨物車	2-1-1-	2-2-2-
⑥トレーラー	1-1-1-	2-1-1-
⑦軽貨物車	2-2-2-	3-2-2-
⑧乗合車	1-1-1-	2-1-1-
⑨二輪車	2-2-2-	3-2-2-

①自家用乗用車（軽を含む）
 自家用乗用車については、初回のみ有効期間を延長して4-2-2-にする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2003年度末)

自家用乗用車	約 5501 万台
--------	-----------

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	ベルギー	イタリア	米国			ニュージージーランド
								ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州	
自家用乗用車	3-2-2-	3-1-1-	3-2-2-	4-2-2-	3-2-1-	4-1-1-	4-2-2-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	4-2-2- 排ガス検査	2-1-1-	1-1-1- (車齢6年以上は 0.5)

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
自家用乗用車	3-2-2-	4-2-2-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

自家用乗用車（軽含） 2/3

自家用乗用車（軽を含む）

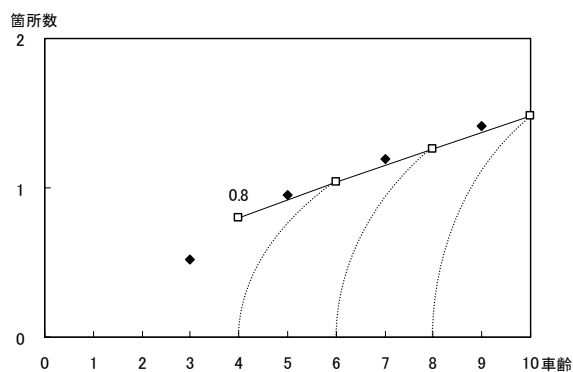
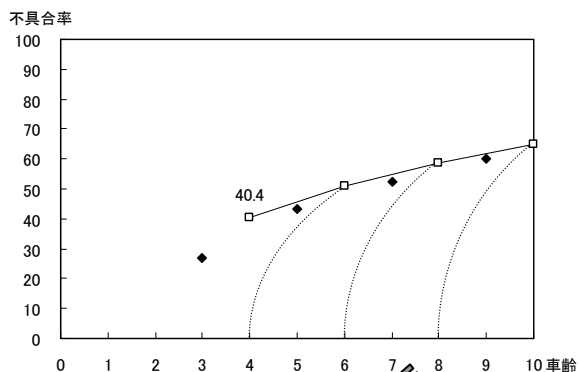
4-2-2-

結果1 —不具合率—

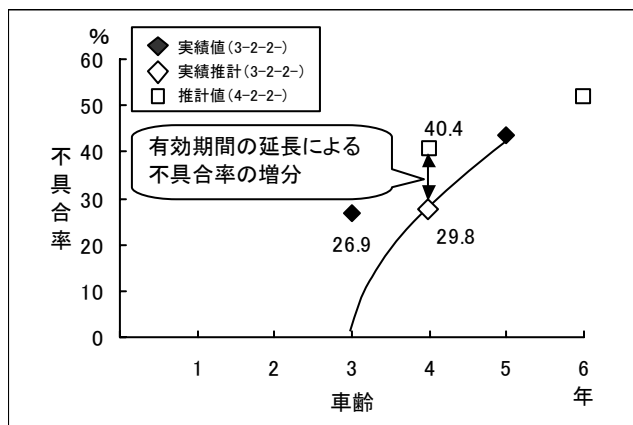
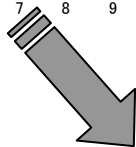
結果2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

4年後（初回）不具合率の増分 10.6ポイント

4年後（初回）不具合箇所数の増分 0.56箇所



◆ : 実績値 □ : 推計値



交 通 事 故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加
() : 増加率

	4-2-2-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
自家用乗用車 (軽を含む)	613 人 (6.5 %)	1,027 人 (11.0 %)

交 通 渋 滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

() : 増加率

	4-2-2-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
自家用乗用車 (軽を含む)	47,949 万台km (9.9 %)	127,592 万台km (26.2 %)

環 境 汚 染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

() : 増加率

	4-2-2-		
	排出ガス成分		
	一酸化炭素	炭化水素	窒素酸化物
自家用乗用車 (軽を含む)	5,708 トン (0.7 %)	415 トン (0.9 %)	407 トン (0.4 %)

事業用乗用車	1/3
--------	-----

②事業用乗用車
 事業用乗用車については、初回のみ有効期間を延長して2-1-1-にする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2003年度末)

事業用乗用車	約 27 万台
--------	---------

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	ベルギー	イタリア	米国			ニュージージーランド
								ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州	
事業用乗用車	1-1-1-					0.5-0.5-0.5-	1-1-1-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	4-2-2- 排ガス検査	1-1-1-	0.5-0.5-0.5-

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
事業用乗用車	1-1-1-	2-1-1-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

事業用乗用車 2/3

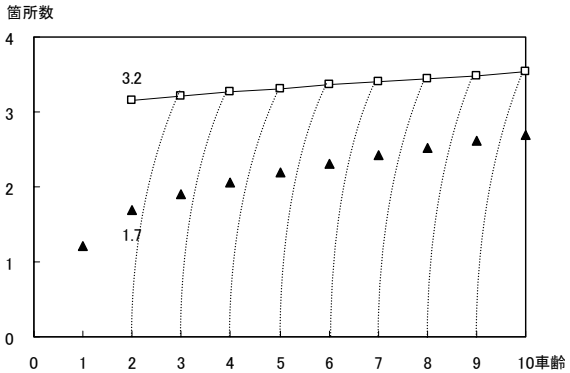
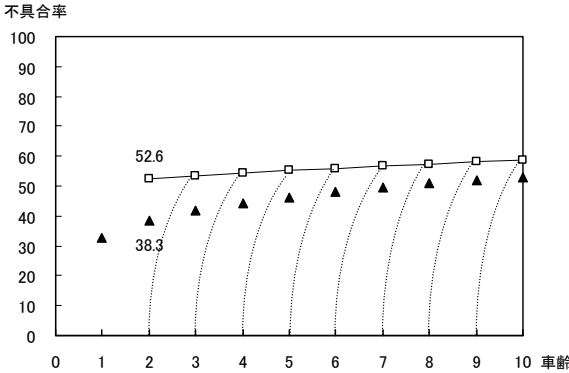
事業用乗用車 2-1-1-

結果1 —不具合率—

結果2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

2年後（初回）不具合率の増分 14.3ポイント

2年後（初回）不具合箇所数の増分 1.47箇所



注：実績推計値をもとに不具合率推計を行った。
 ▲：実績推計値 □：推計値

交通事故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加

() : 増加率

	2-1-1-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
事業用乗用車	45 人 (40.9 %)	80 人 (72.6 %)

交通渋滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

() : 増加率

	2-1-1-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
事業用乗用車	1,556 万台km (10.2 %)	3,955 万台km (25.8 %)

環境汚染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

() : 増加率

	2-1-1-		
	排出ガス成分		
	一酸化炭素	炭化水素	窒素酸化物
事業用乗用車	5,062 トン (18.0 %)	336 トン (23.6 %)	315 トン (11.4 %)

レンタカー（乗用）	1/3
-----------	-----

③レンタカー（乗用）
 レンタカー（乗用）については、初回のみ有効期間を延長して3-1-1-にする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2002年度末)

レンタカー(乗用)	約 16 万台
-----------	---------

(自家用乗用車内数)

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	ベルギー	イタリア	米国			ニュー ジール ランド
								ニュー ヨーク 州	カリフォル ニア州	テキサス 州	
レンタカー(乗用)	2-1-1-	3-1-1-	1-1-1-			0.5-0.5-0.5-	1-1-1-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	不明		

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
レンタカー(乗用)	2-1-1-	3-1-1-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

レンタカー（乗用） 2/3

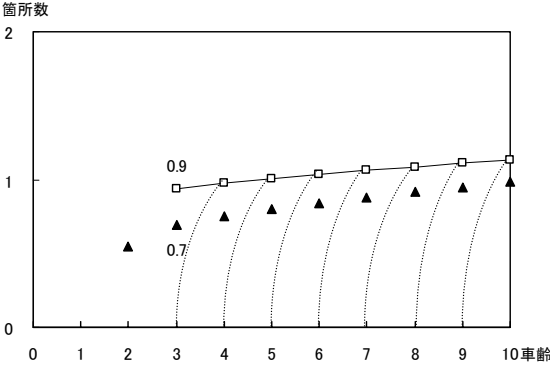
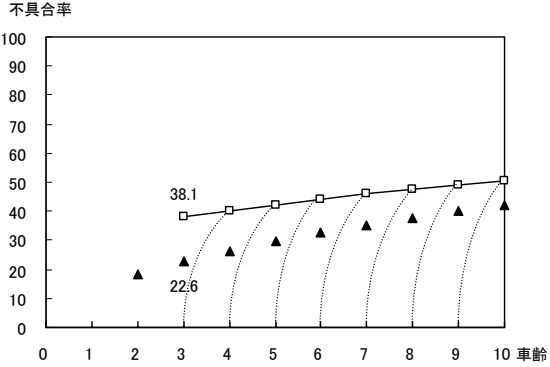
レンタカー（乗用） 3-1-1-

結果1 —不具合率—

結果2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

3年後（初回）不具合率の増分 15.4ポイント

3年後（初回）不具合箇所数の増分 0.24箇所



注：実績推計値をもとに不具合率推計を行った。
▲：実績推計値 □：推計値

交 通 事 故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加

（ ）：増加率

	3-1-1-	
	結果 1（不具合率）	結果 2（箇所数）
レンタカー （乗用）	4 人 （ 13.7 %）	3 人 （ 9.3 %）

交 通 渋 滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

（自家用乗用車に含まれる）

環 境 汚 染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

（自家用乗用車に含まれる）

④8t以上貨物車
 8t以上貨物車については、初回のみ有効期間を延長して2-1-1-にする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2003年度末)

8t以上貨物車	約 60 万台
---------	---------

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	ベルギー	イタリア	米国			ニュージージーランド
								ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州	
8t以上貨物車	1-1-1-					0.5-0.5-0.5-	1-1-1-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	なし	1-1-1-	0.5-0.5-0.5-

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
8t以上貨物車	1-1-1-	2-1-1-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

8 t 以上貨物車 2/3

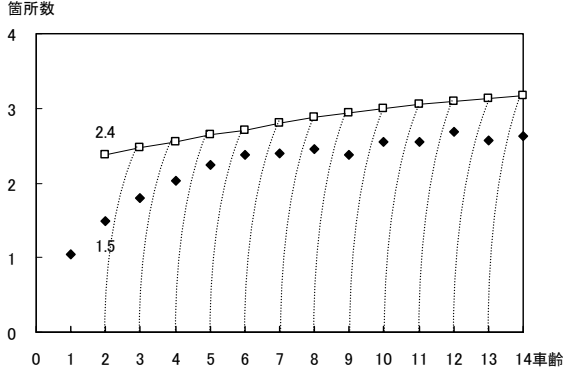
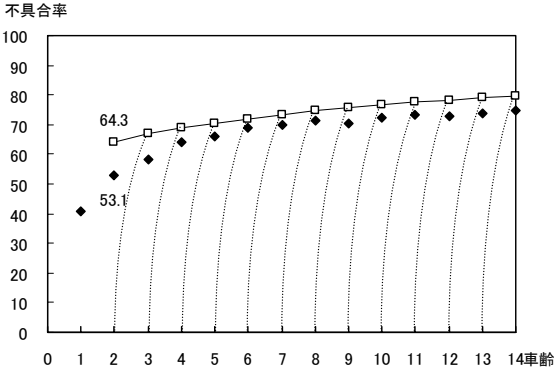
8 t 以上貨物車計 2-1-1-

結果1 —不具合率—

結果2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

2年後（初回）不具合率の増分 11.2ポイント

2年後（初回）不具合箇所数の増分 0.88箇所



◆ : 実績値 □ : 推計値

交通事故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加

() : 増加率

	2-1-1-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
8 t 以上貨物車 (普通貨物車)	123 人 (8.3 %)	237 人 (15.8 %)

交通渋滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

() : 増加率

	2-1-1-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
8 t 以上貨物車 (普通貨物車)	12,230 万台km (15.7 %)	12,876 万台km (16.5 %)

環境汚染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

() : 増加率

	2-1-1-		
	排出ガス成分		
	一酸化炭素	炭化水素	窒素酸化物
8 t 以上貨物車 (普通貨物車)	6,133 トン (3.0 %)	3,421 トン (3.9 %)	6,924 トン (1.9 %)

⑤8t未満貨物車
 8t未満貨物車については、2回目以降も2年ごととする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2003年度末)

8t未満貨物車	約 668 万台
---------	----------

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	ベルギー	イタリア	米国			ニュージ ランド
								ニューヨ ーク 州	カリフォル ニア州	テキサス 州	
8t未満貨物車	2-1-1-	1-1-1-				0.5-0.5-0.5-	1-1-1-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	なし	1-1-1-	0.5-0.5-0.5-

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
8t未満貨物車	2-1-1-	2-2-2-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

8 t 未満貨物車

2/3

8 t 未満貨物車計

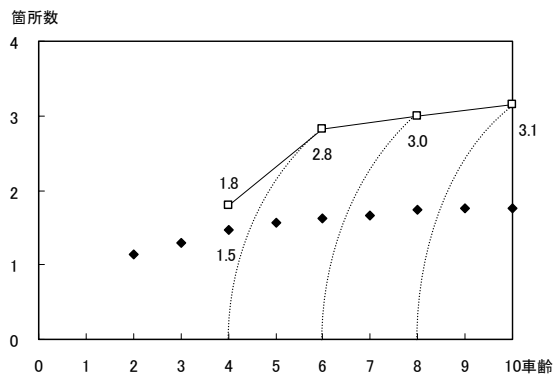
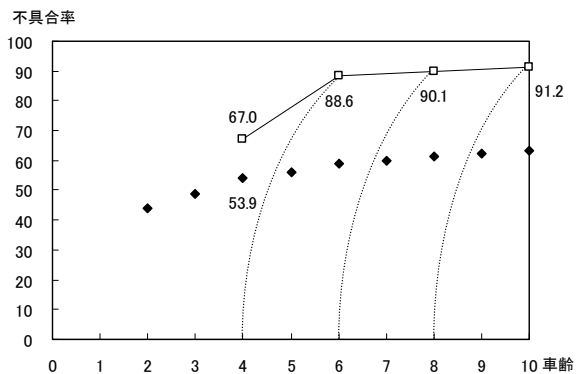
2-2-2-

結果 1 —不具合率—

結果 2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

4年後（2回目）不具合率の増分 13.2ポイント

4年後（2回目）不具合箇所数の増分 0.33箇所



◆ : 実績値 □ : 推計値

交通事故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加

() : 増加率

	2-2-2-	
	結果1 (不具合率)	結果2 (箇所数)
8 t 未満貨物車 (小型貨物車)	334 人 (35.2 %)	467 人 (49.3 %)

交通渋滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

() : 増加率

	2-2-2-	
	結果1 (不具合率)	結果2 (箇所数)
8 t 未満貨物車 (小型貨物車)	31,037 万台km (41.3 %)	45,955 万台km (61.2 %)

環境汚染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

() : 増加率

	2-2-2-		
	排出ガス成分		
	一酸化炭素	炭化水素	窒素酸化物
8 t 未満貨物車 (小型貨物車)	18,820 トン (7.4 %)	1,510 トン (6.3 %)	1,328 トン (1.9 %)

⑥トレーラー

自動車保有台数(2003年度末)

トレーラー	約 14 万台
-------	---------

自動車検査証の有効期間

トレーラー	日本	(イギリス)	(ドイツ)	フランス	(スウェーデン)	ベルギー	イタリア	米国			(ニュージランド)
								ニューヨーク州	(カリフォルニア州)	(テキサス州)	
	1-1-1-					0.5-0.5-0.5-	1-1-1-			0.5-0.5-0.5-	

注:()の国などにおいては、トレーラーを区別した記述がないため、貨物車の有効期間と同じ

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
トレーラー	1-1-1-	2-1-1-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

トレーラー

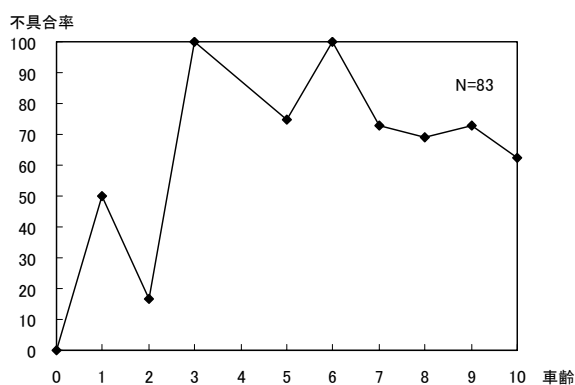
2/2

トレーラー

2-1-1-

(不具合データのサンプル数が少ないため推計不能)

参考：トレーラーの不具合率



◆ : 実績値

交通事故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加

(不具合データのサンプル数が少ないため推計不能)

交通渋滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

(不具合データのサンプル数が少ないため推計不能)

環境汚染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

(不具合データのサンプル数が少ないため推計不能)

⑦軽貨物車

軽貨物車については、初回のみ有効期間を延長して3-2-2-にする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2003年度末)

軽貨物車	約 958 万台
------	----------

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	ベルギー	イタリア	米国			ニュージーランド
								ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州	
軽貨物車	2-2-2-	1-1-1-				0.5-0.5-0.5-	1-1-1-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	なし	1-1-1-	0.5-0.5-0.5-

注: 諸外国においては、軽貨物を区別した記述がないため、貨物車の有効期間と同じ

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
軽貨物車	2-2-2-	3-2-2-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

軽貨物車 2/3

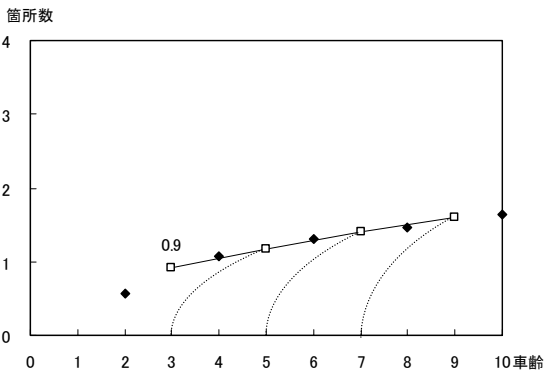
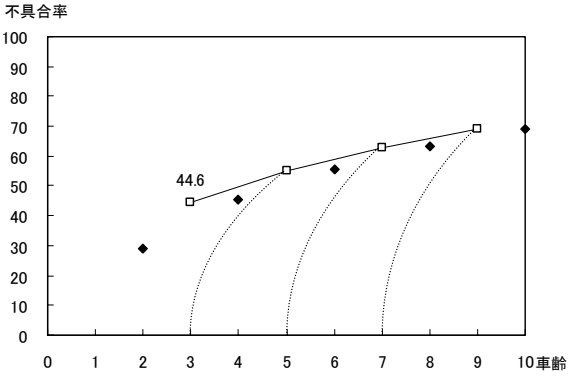
軽貨物車 3-2-2-

結果1 —不具合率—

結果2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

3年後（初回）不具合率の増分 14.6ポイント

3年後（初回）不具合箇所数の増分 0.57箇所



◆ : 実績値 □ : 推計値

交 通 事 故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加
() : 増加率

	3-2-2-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
軽貨物車	44 人 (4.1 %)	41 人 (3.9 %)

交 通 渋 滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

() : 増加率

	3-2-2-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
軽貨物車	5,758 万台km (8.4 %)	19,539 万台km (28.5 %)

環 境 汚 染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

() : 増加率

	3-2-2-		
	排出ガス成分		
	一酸化炭素	炭化水素	窒素酸化物
軽貨物車	4,764 トン (1.2 %)	334 トン (1.6 %)	193 トン (0.7 %)

⑧乗合車

乗合車については、初回のみ有効期間を延長して2-1-1-にする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2003年度末)

乗合車	約 23 万台
-----	---------

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	スウェーデン	フランス	ベルギー	イタリア	米国			ニュージークランド
								ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州	
乗合車	1-1-1-				0.5-0.5-0.5-		1-1-1-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	なし	1-1-1-	0.5-0.5-0.5-

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
乗合車	1-1-1-	2-1-1-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

乗合車 2/3

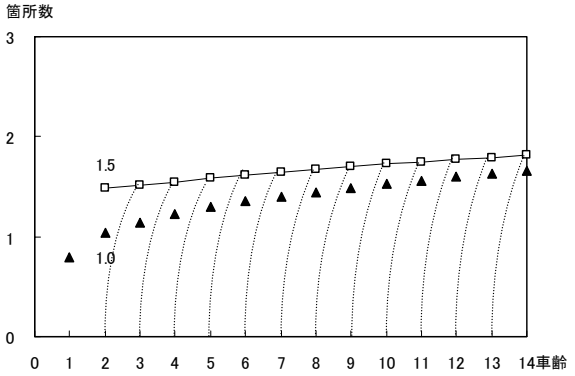
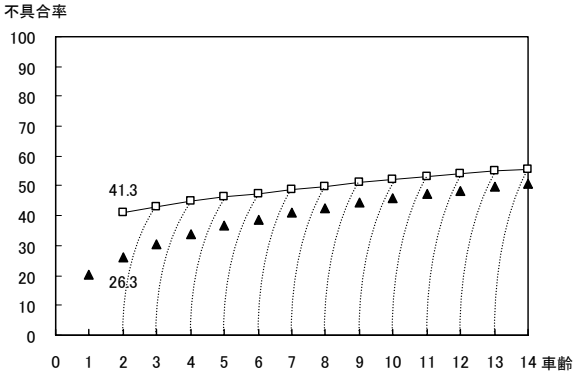
乗合車 2-1-1-

結果1 —不具合率—

結果2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

2年後（初回）不具合率の増分 15.0ポイント

2年後（初回）不具合箇所数の増分 0.44箇所



注：実績推計値をもとに不具合率推計を行った。
 ▲：実績推計値 □：推計値

交 通 事 故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加
() : 増加率

	2-1-1-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
乗合車	9 人 (12.1 %)	12 人 (14.8 %)

交 通 渋 滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加

() : 増加率

	2-1-1-	
	結果 1 (不具合率)	結果 2 (箇所数)
乗合車	991 万台 km (15.7 %)	1,043 万台 km (16.5 %)

環 境 汚 染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

() : 増加率

	2-1-1-		
	排出ガス成分		
	一酸化炭素	炭化水素	窒素酸化物
乗合車	489 トン (3.3 %)	309 トン (4.4 %)	477 トン (2.0 %)

二輪車	1/2
-----	-----

⑨二輪車

二輪車については、初回のみ有効期間を延長して3-2-2-にする場合を想定して試算した。

自動車保有台数(2003年度末)

二輪車	約 137 万台
-----	----------

自動車検査証の有効期間

	日本	イギリス	ドイツ	スウェーデン	フランス	ベルギー	イタリア	米国			ニュージランド
								ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州	
二輪車	2-2-2-	3-1-1-	2-2-2-	2-2-2-	なし		4-2-2-	排ガス検査 2-1-1- 安全検査 1-1-1-	なし	1-1-1-	1-1-1- (車齢6年以上は0.5)

想定した有効期間のパターン

	現行	想定
二輪車	2-2-2-	3-2-2-

不具合率と不具合箇所数による集計・推計結果

二輪車 2/2

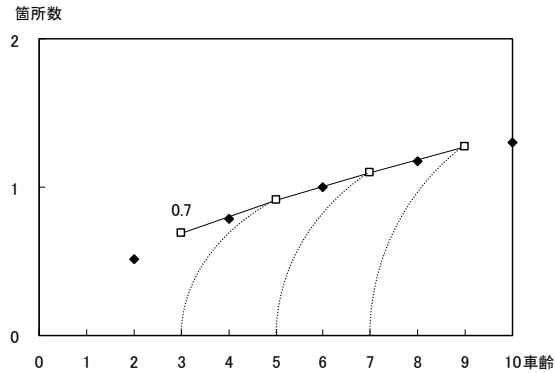
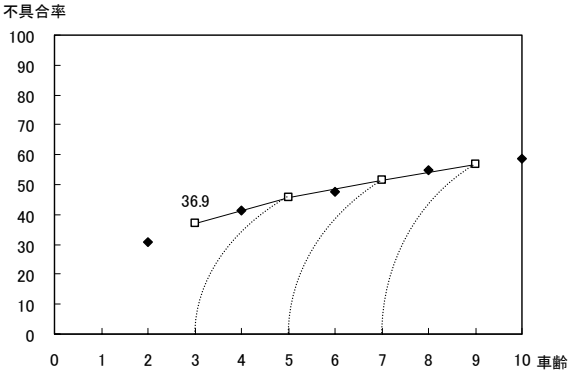
二輪車 3-2-2-

結果1 —不具合率—

結果2 —1台当たりの平均不具合箇所数—

3年後（初回）不具合率の増分 2.8ポイント

3年後（初回）不具合箇所数の増分 0.26箇所



◆ : 実績値 □ : 推計値

交通事故

整備不良が要因として関与した交通事故による年間推定死傷者数の増加
(車両要因を伴う交通事故発生率と不具合率との相関関係が認められないため推計不能)

交通渋滞

路上故障による年間推定交通渋滞長の増加
(推計対象外)

環境汚染

自動車排出ガスの成分別の年間推定総排出量の増加

() : 増加率

	3-2-2-		
	排出ガス成分		
	一酸化炭素	炭化水素	窒素酸化物
二輪車 (参考値)	378 トン (0.2 %)	167 トン (0.3 %)	2 トン (0.1 %)

注：車齢3年目の車両からの排出量のみ増加するものとして、推計した参考値のため、他車種と比較できない。